



愛の世界を!

賀川豊彦氏と語る

去る二月二十一日賀川豊彦氏の来川により講演会が催されたが川高記者連はこの日朝野に同氏を迎へて質問に答へていただいた。以下は賀川氏との対談である。

問 現在学校内で種々の政治研究やそれに類した活動が盛んですが、戦後反動的に社会主義の研究が盛んになつたが日本にはいつて来た社会主義思想は大體社会主義といへる偏波なものである。むしろ社会主義で成功しているスウェーデン、イギリス、スイスなどの教育社会主義(人格的社会主義)の研究をなす日本の精神革命の要を痛感する。要は愛の世界である。社会科学とは政策といふものが常に現在より以後に即ち未来に行はれる理想であるといふことを認めてそれに向つて一種の發明をするという態度で研究すべきである。

問 今學園の植民地化といふことが言はれてゐるやうだが、これは共産黨の言ふことである。川内は農村都市で文化の刺激が少くないが文化について答へて下さい。答 私は文化をいふものを單に藝術と考へないで廣い意味の文化即ち自然科学など自然そのものを藝術にとり入れる点を強調する。だから都會的なものだけ

問 共學について新學制による共學は共學によつて全体のレベルを上げるか、それよりむしろ女子の水準を男子の程度まで引上げるか、とある結局男子にとつてはあまり得をしない女性の奮發を望む。對談を終えた記者連を見送りに出られて先生の庶民的な人格が強く感じられた。

問 Y.M.C.A.に對しての御希望。答 學生時代は研究的によい書物を選んで見ること、社会科学よりむしろ自然科学としての博物、宗教の研究の方が望ましい。問 中央での學生民主同盟に對するお考え。答 中央では共産黨が事實上牛耳つてゐる。共産黨の運動は巧妙で大學などの生徒大會の日には帽子を着用しないにせ學生が混つて表決の時に威大な役割をする。このにせ學生連は實は共産黨員である。又別府で職員組合があつたさうだが共産黨の人は被弾行動に出で椅子やガラスなどが痛めつけられたさうだ。

問 經濟統制が緩和されたら社會はどうなるだらうか。答 共同組合制が發達してよき社會になるだらう。問 學園の植民地化といふことが言はれてゐるやうだが、これは共産黨の言ふことである。川内は農村都市で文化の刺激が少くないが文化について答へて下さい。答 私は文化をいふものを單に藝術と考へないで廣い意味の文化即ち自然科学など自然そのものを藝術にとり入れる点を強調する。だから都會的なものだけ

問 共學について新學制による共學は共學によつて全体のレベルを上げるか、それよりむしろ女子の水準を男子の程度まで引上げるか、とある結局男子にとつてはあまり得をしない女性の奮發を望む。對談を終えた記者連を見送りに出られて先生の庶民的な人格が強く感じられた。

問 Y.M.C.A.に對しての御希望。答 學生時代は研究的によい書物を選んで見ること、社会科学よりむしろ自然科学としての博物、宗教の研究の方が望ましい。問 中央での學生民主同盟に對するお考え。答 中央では共産黨が事實上牛耳つてゐる。共産黨の運動は巧妙で大學などの生徒大會の日には帽子を着用しないにせ學生が混つて表決の時に威大な役割をする。このにせ學生連は實は共産黨員である。又別府で職員組合があつたさうだが共産黨の人は被弾行動に出で椅子やガラスなどが痛めつけられたさうだ。

問 經濟統制が緩和されたら社會はどうなるだらうか。答 共同組合制が發達してよき社會になるだらう。問 學園の植民地化といふことが言はれてゐるやうだが、これは共産黨の言ふことである。川内は農村都市で文化の刺激が少くないが文化について答へて下さい。答 私は文化をいふものを單に藝術と考へないで廣い意味の文化即ち自然科学など自然そのものを藝術にとり入れる点を強調する。だから都會的なものだけ

俳人展望

飯田蛇笏

現代俳壇の一流人をピツクアップしてその一面を描いて見よう。先づ一回目は一流俳人を主宰してゐる次の三人を選んだ。そこにはバ、ハ、ハのサルタン(回教國の王)が。記録がないので此町、此の王家が何時から始まつたのかは分らない。私達は此の王城を訪問した。サルタンは王族軍臣達と共に玄關まで出迎へて、我々は客間へ招ぜられた。王宮は豪華といつた方が一ぱん適はしく思われる。豪華な建物、内部は金銀寶石の置物で飾られ、貴重な緑物で敷きつめ張り、つめられた。王は身丈六尺に垂とし、堂々たる体格の持主である。年は三十四五才。名をイブラヒムといふ先祖はアラビヤ人でマライ各國の王家とは皆同族ださうだ。確かに王はインドネシア族でなくインドゲルマン系の特徴を備えてゐる。一通りの挨拶を済し四方山の話に花を咲かせた後、中食の御馳走になつた。目を喜ばす美しい器ばかり。サルタンはこれもあれも日本品だと話した。中食の後、王城の中を案内された。王城は一里四方位のドームは禮拜堂だ。サルタンは四つの官殿を持つて居り、これには夫々一人づゝの妃が住んでゐる。サルタンは一日づゝ大々として歩く。四人の妃の或る者を偏愛してはならぬのが回教の掟ださうだ。博物館に案内された。甲冑、刀剣、銃、槍、織物、陶磁器金銀製の品物等澤山の陳列物がある。此處は現王の祖父の官殿の跡だ。今では刀剣などの武器は全く持たない、昔を抜かれたようなマライ人達もその先祖達はあの甲冑をつけて、あの槍や棒を持つて戦つたのだ。マライ人の間には數々の武勇傳や戦争譚が語り傳へられてゐる。王城の一部は果樹園となつてゐる。バナナ、パイナップル、マンゴスチン、ドリアン、パイナップル、密柑等々が美しい實をつけてゐる。此處が樂園でなく何であらう。此の樂園の樂みは心ゆくまで味わひながら歩いたが、その中に日本の飛行機が無残なきがらを横へてゐる。クワンタン沖戦の遺物だ。サルタンは夜は其の經營に係る遊藝場に案内された。ジャザの歌や踊、ロンガン、人形芝居、サリと並んだ賭博場、臺かに料理の並んだ饗宴の店など一通り見て歩いた。私共はボンゲルが一番面白かつたのでサルタンと共に其の見物に興じた。美しい舞姫連や町の青

年達が音楽につけて踊り狂つてゐる。此の美しい舞姫連は中央山脈の彼方のクランブールと言ふ大きな町から輸入されたものでサルタンの誇の一つだつた。嘗て専政王の府であつた王城は、今は單なる回教の府であり名家に過ぎない。だが教徒の間にはまだ、絶大な信頼がある。(一部教育)

文化消息

短歌について

一平原勝郎氏談

歌は理屈ではない。早くこの様な城をぬけてきて自分自身を忘れた。故に實感をはなれたものは自然や人生の本當の姿ではない。逝く春、散る花に心を動かされるのも歌の心であり歌心の源は廣く深い作者の愛情である。我々は歌を通じて自然や人生の眞の意義を知り又祖先の心にも通じ得るのである。又歌を詠むことに依り吾々の心は醇化され本當の人間を知るの心である。病中の歌が鋭いと云ふはそれである。歌を作るには先づ一口に云つて廣く深く作者の愛情を万物に及ぼすことである。そして自然に飛込み心に感じたいと欲する本能があるからである。編集等も少しといふところである。内容は隨筆的な概念的なものが多い。次に學校新聞を掲げると伊集院高校では現在二一號まで發行してゐる。内容もまあ普通といつたところであらう。宮之城高校では新聞白鳥を發行してゐる。又我が學校でも文藝部で文藝雜誌標榜を近日中

に刊行する。

みなからその歌を台

サルタン王城の話

マライの東海岸なるマライ第一の大川パハハの右岸にベカンと云ふ美しい町がある。そこにはバ、ハ、ハのサルタン(回教國の王)が。記録がないので此町、此の王家が何時から始まつたのかは分らない。私達は此の王城を訪問した。サルタンは王族軍臣達と共に玄關まで出迎へて、我々は客間へ招ぜられた。王宮は豪華といつた方が一ぱん適はしく思われる。豪華な建物、内部は金銀寶石の置物で飾られ、貴重な緑物で敷きつめ張り、つめられた。王は身丈六尺に垂とし、堂々たる体格の持主である。年は三十四五才。名をイブラヒムといふ先祖はアラビヤ人でマライ各國の王家とは皆同族ださうだ。確かに王はインドネシア族でなくインドゲルマン系の特徴を備えてゐる。一通りの挨拶を済し四方山の話に花を咲かせた後、中食の御馳走になつた。目を喜ばす美しい器ばかり。サルタンはこれもあれも日本品だと話した。中食の後、王城の中を案内された。王城は一里四方位のドームは禮拜堂だ。サルタンは四つの官殿を持つて居り、これには夫々一人づゝの妃が住んでゐる。サルタンは一日づゝ大々として歩く。四人の妃の或る者を偏愛してはならぬのが回教の掟ださうだ。博物館に案内された。甲冑、刀剣、銃、槍、織物、陶磁器金銀製の品物等澤山の陳列物がある。此處は現王の祖父の官殿の跡だ。今では刀剣などの武器は全く持たない、昔を抜かれたようなマライ人達もその先祖達はあの甲冑をつけて、あの槍や棒を持つて戦つたのだ。マライ人の間には數々の武勇傳や戦争譚が語り傳へられてゐる。王城の一部は果樹園となつてゐる。バナナ、パイナップル、マンゴスチン、ドリアン、パイナップル、密柑等々が美しい實をつけてゐる。此處が樂園でなく何であらう。此の樂園の樂みは心ゆくまで味わひながら歩いたが、その中に日本の飛行機が無残なきがらを横へてゐる。クワンタン沖戦の遺物だ。サルタンは夜は其の經營に係る遊藝場に案内された。ジャザの歌や踊、ロンガン、人形芝居、サリと並んだ賭博場、臺かに料理の並んだ饗宴の店など一通り見て歩いた。私共はボンゲルが一番面白かつたのでサルタンと共に其の見物に興じた。美しい舞姫連や町の青

年達が音楽につけて踊り狂つてゐる。此の美しい舞姫連は中央山脈の彼方のクランブールと言ふ大きな町から輸入されたものでサルタンの誇の一つだつた。嘗て専政王の府であつた王城は、今は單なる回教の府であり名家に過ぎない。だが教徒の間にはまだ、絶大な信頼がある。(一部教育)

文化消息

各地方高等學校に於いて近頃文化活動が大へんいぢる。先づ校友雜誌を拾ひ上げる。第五部の草笛。内容は充實している。割合程度は高く創作等がすぐれてゐる。出水高の草笛。前に位べると少しあら感である。編集等も少しといふところである。内容は隨筆的な概念的なものが多い。次に學校新聞を掲げると伊集院高校では現在二一號まで發行してゐる。内容もまあ普通といつたところであらう。宮之城高校では新聞白鳥を發行してゐる。又我が學校でも文藝部で文藝雜誌標榜を近日中

に刊行する。

みなからその歌を台